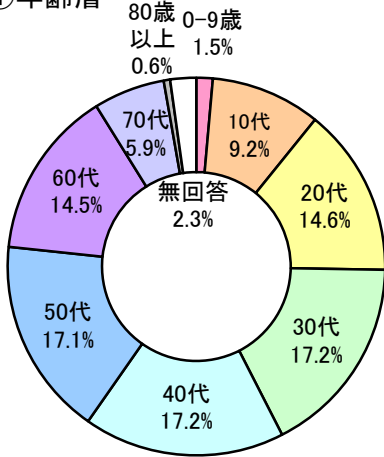


# 特別展「対決ー巨匠たちの日本美術」 アンケート集計結果

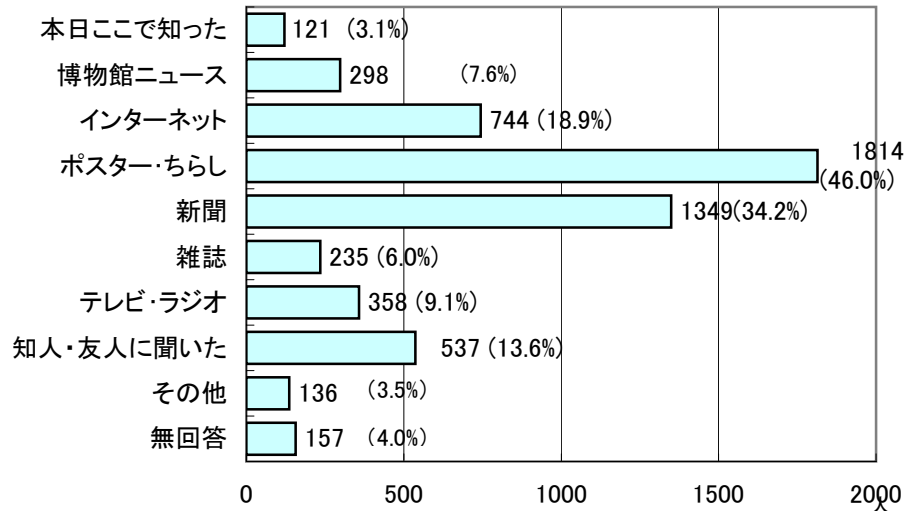
開催期間：平成20年7月8日（火）～8月17日（日）

回答者数：3,940人（総入館者数：3,267,784人 アンケート回収率：1.20%）

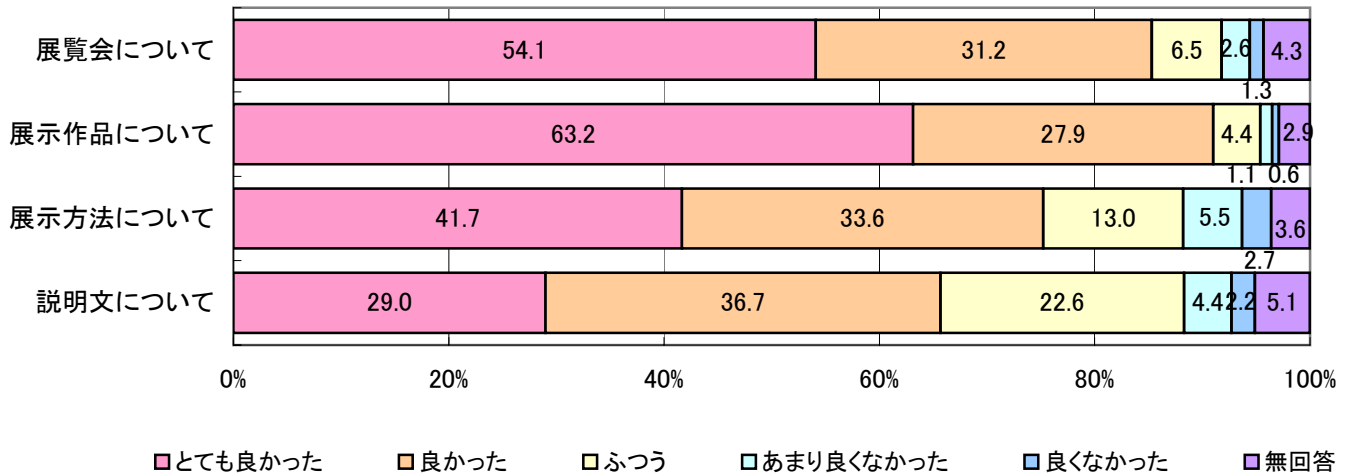
## ①年齢層



## ②認知経路（複数回答）



## ③展示に関する満足度



## ④主な意見・感想

- ・対決という見せ方がとてもよかったです。
- ・各巨匠を対決させることで、特徴が浮き彫りになり非常に理解しやすい展示になっていたと思う。
- ・仏像から焼き物まで様々な作風・種類の作品を見られとてもよかったです。
- ・日本美術を知る上での入門に適した展覧会だと思いました。もっと掘り下げて見てみたいという作家も見つけられるし、新しい発見もある。
- ・音声ガイドに工夫を凝らしてあって大変楽しめました。作品と解説に声優の声の質が合っていてよかった。
- ・(展示替えのため)「風神雷神図屏風」「松林図屏風」が見られなかったのが残念だった。
- ・焼き物は鏡を使って中が見やすい方がよかった。
- ・展示替えについて告知不足。

本展覧会は、『國華』の創刊120周年と朝日新聞創刊130周年を記念して開催されました。運慶と快慶、狩野永徳と長谷川等伯など日本美術史上に輝く巨匠たちを2人ずつ組み合わせ、12組を「対決」させるという斬新な視点から紹介し、約33万人のお客様にご来場いただきました。展覧会については約85%の方々から「とても良かった」「良かった」と好意的な評価をいただいたほか、展示作品全般に関しても多くの好評意見が寄せられました。一方で、「展示替えのため、見なかった作品が見られなかった。」などの意見もいただきました。今後も、お寄せいただいたご意見・ご感想を参考に観覧環境の改善に努めてまいります。たくさんのご意見・ご感想をいただき、誠にありがとうございました。